

鹿沼市 老人福祉センター新築工事			
電気設備実施設計概要			
1. 構内配電線路設備			
○電力引込ルートは、敷地内東側に引込柱（12m）を立て、東電柱（酒野谷 214）より引込とします。（東京電力打合せ済）			
以降、埋設にてサービスマンテナンス及び、サービスヤードを経て機械室屋根上に、高圧（6600V）にて電源供給とします。			
建物内の各配電盤までは、トレンチ内ケーブルラック及び、天井内ケーブルラックにて電源供給とします。			
配電方式	単相	200/100V……………	一般電灯・コンセント
	三相	200V ……………	一般動力
2. 構内通信線路設備			
○電話・情報通信用引込ルートは、敷地内東側引込柱（電力引込と共用）より、埋設にてサービススペースを経て、事務室内端子盤（複合防災盤内組込）に空配管を設置します。			
事務室内端子盤までの、空配管内の引込配線は NTT 工事とします。（NTT 打合せ済）			
3. 受変電設備			
○機械室屋根上に閉鎖型（キュービクルタイプ）受変電設備を設置します。			
機械室屋根上により、将来の改修及び、電力増設に対応できるスペースを確保			
受電電圧	受電方式	3φ3W	6.6KV 50Hz
主要機器	高圧遮断器……………VCB		
	低圧遮断器……………MCB・ELB		
	変圧器 ……………油入り（TR）		
	高圧アース……………LA		

4. 動力設備

○ 3φ (深夜電力)

空調設備	67.0KW	(深夜電力及び昼間電力も使用)	→	空調機盤
床暖房	65.0KW	(深夜電力のみ)	→	床暖房制御盤
熱源貯湯槽	200.0KW	(深夜電力のみ)	→	動力盤 P-A

3φ (昼間電力)

給水設備	4.4KW	→	給水加圧ポンプ盤
給湯設備	17.0KW	→	加圧給湯ポンプ盤・動力盤 P-A
浄化槽設備	7.5KW	→	浄化槽制御盤
換気設備	3.0KW	→	動力盤 P-A
温泉ろ過設備	30.0KW	→	温泉制御盤
空調設備	46.9KW(70%)	(深夜電力及び昼間電力も使用) →	空調機盤
厨房機器		→	動力盤 P-1

○盤設置場所

給水加圧ポンプ盤・給湯加圧ポンプ盤・動力盤 P-A・温泉制御盤	→	機械室に設置
浄化槽制御盤	→	浄化槽近辺に設置
空調機盤	→	機械スペースに設置
床暖房制御盤	→	建物内に設置
動力盤 P-1	→	事務室内に設置

上記の位置に設置とします。

5. 電灯・コンセント設備

○各室の照明器具及び、換気扇等の制御は、個別及び、事務室における集中監視制御とします。

配線方式

VVF ケーブルにて、天井内ころがし配線とします。

点滅系統は、細分化をすることにより省エネルギー化を図ります。

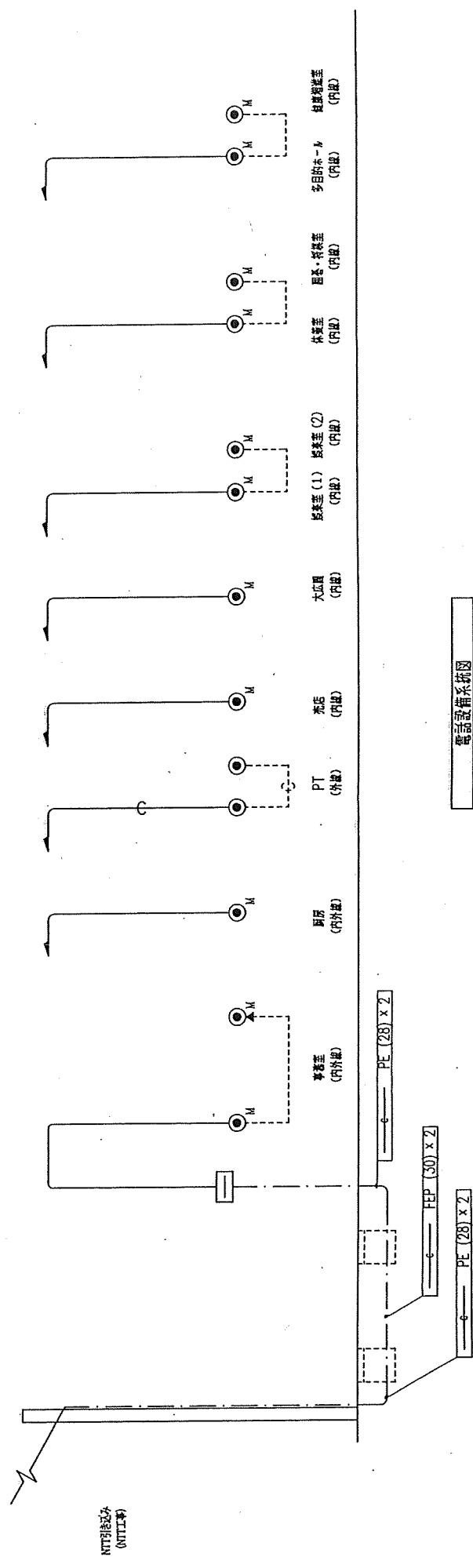
コンセント計画

共用部	清掃用として歩行距離 15m 程度毎に 1 ヲ所以上とします。 自動販売機・ウォシュレット・ドライヤー等については、 専用回路とします。
居室	図面参照

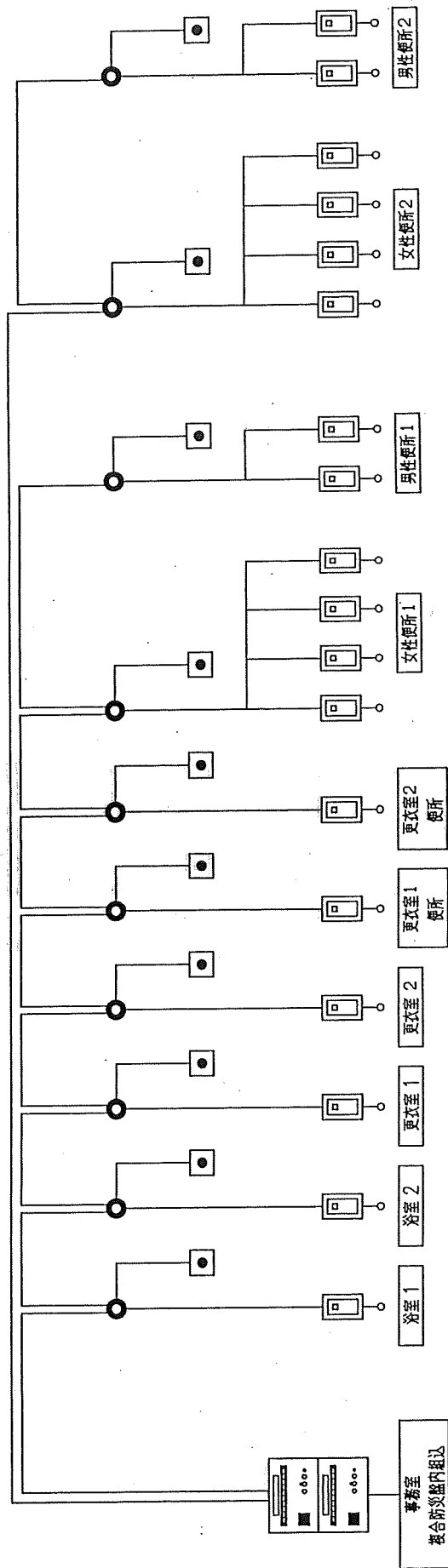
6. 照明器具設備	
使用目的毎に照明器具を選定し、高効率・高力率型照明器具を使用することにより、小エネルギー化を図ります。	
老人が、主に使用する建物であることを考慮し、通常より明るい照度設定とします。	
7. 電話設備	
○事務室・厨房	→ 内外線電話
売店・大広間・娯楽室・休養室・囲碁・将棋室・多目的ホール・健康増進室	→ 内線電話
TEL コーナー	→ 公衆電話 (NTT 工事)
上記の位置にモジュージャック及び電話機器を設置します。	
8. 拡声設備	
○事務室に非常音声警報付一般業務放送兼用防災アンプ、BGM 他を設置し、大広間及び、多目的ホールにローカル放送設備を設置します。(大広間には、カラオケも設置)	
9. 表示設備	
○便所 (各ブース毎)・身障者便所・浴室・更衣室に呼出用押釦を設置し、事務室及び便所出入口等に表示する設備とし、緊急時に対応するものとします。	
10. 電気時計設備	
○事務室内の複合防災盤内に親時計を設置し、必要諸室に壁掛型子時計を設置します。	
11. テレビ共同受信設備	
○UHF・BS アンテナを機械スペース壁面に設置し、事務室内端子盤より、事務室・ホール大広間・娯楽室・囲碁・将棋室・休養室・多目的ホールの直列ユニットへ配線します。	
12. 自動火災報知設備	
○本施設全体を総括して、日常の防災監視、火災予防の保全に努められるよう事務室に複合防災盤を設け、P 型 1 級受信機による防災監視とします。	

13. 受雷

○各電灯盤・動力制御盤内にも、低圧のアレスターを設置し、落雷時の機器損傷等の事故防止に備えます。



電話設備系統図



表示設備系統図